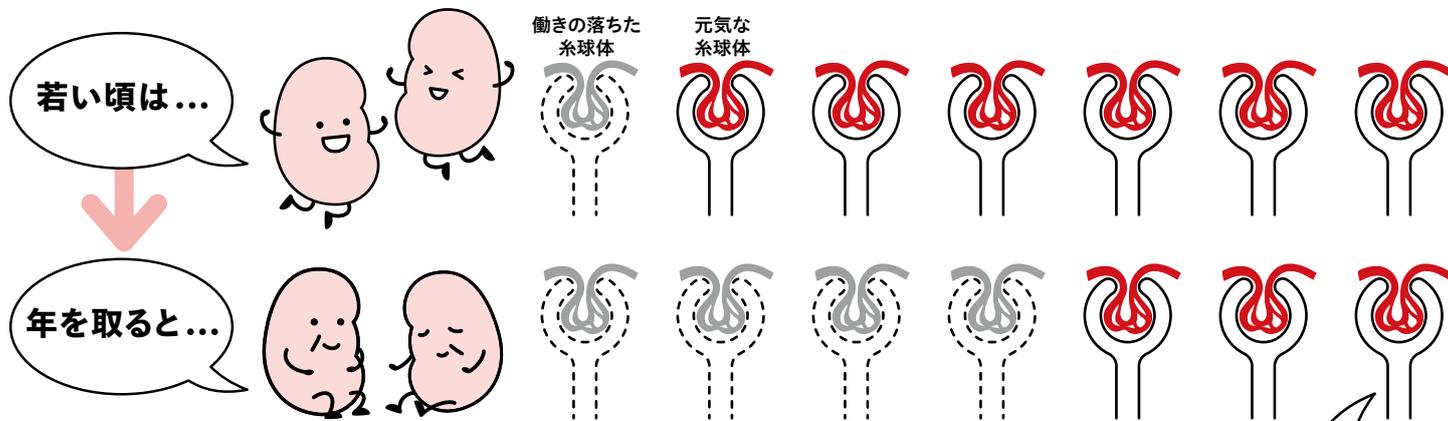
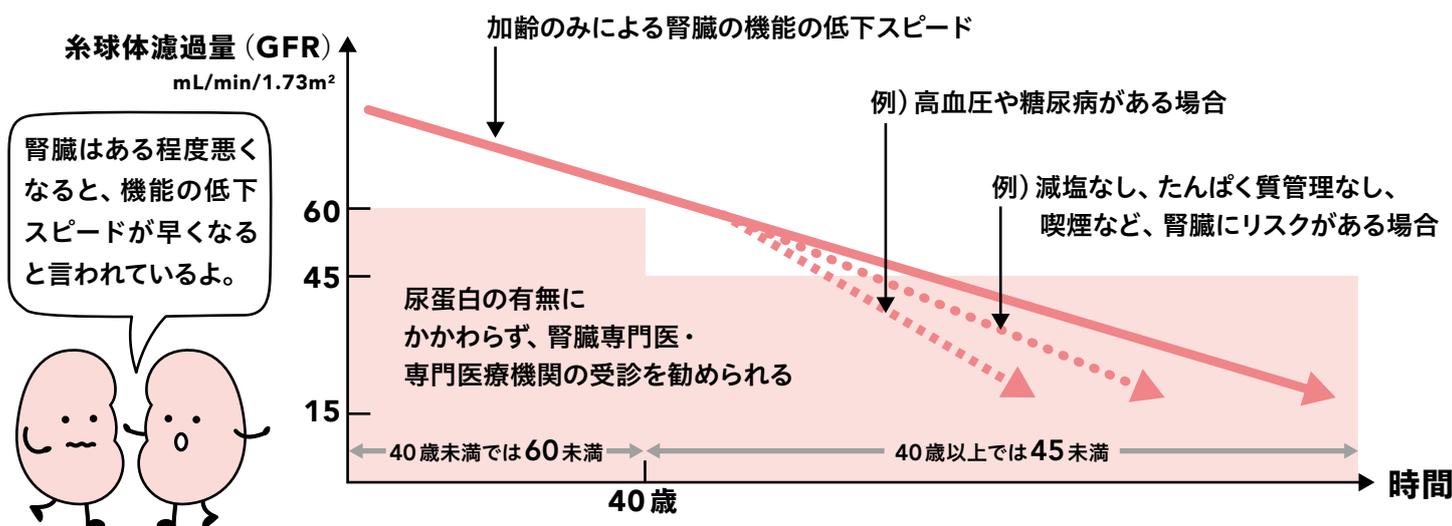


腎臓の働きは自然に低下します

年齢を重ねるにつれて、働ける糸球体の数が減ります。



糸球体とは、毛細血管が糸玉のように丸まった、血液をろ過するフィルターです。1つの腎臓に約100万個あります。



加齢で働ける糸球体が減ると、糸球体濾過量 (GFR、腎臓の処理能力) も低下します。そのため医療機関を受診する基準も変わります。

腎臓の処理能力の低下は個人差があります。加齢や原因となる疾患にもよりますし、生活習慣や喫煙・遺伝などが影響します。

腎臓は一度機能が失われると回復することはほぼありません。
慢性腎臓病 (CKD) の治療は残りの腎臓の機能を長く保つことが目的です。

監修

長澤 将 東北大学病院 腎高血圧内分泌科 講師
大武 陽一 たけお内科クリニック からだと心の診療所 院長

運営

一般社団法人ピーベック

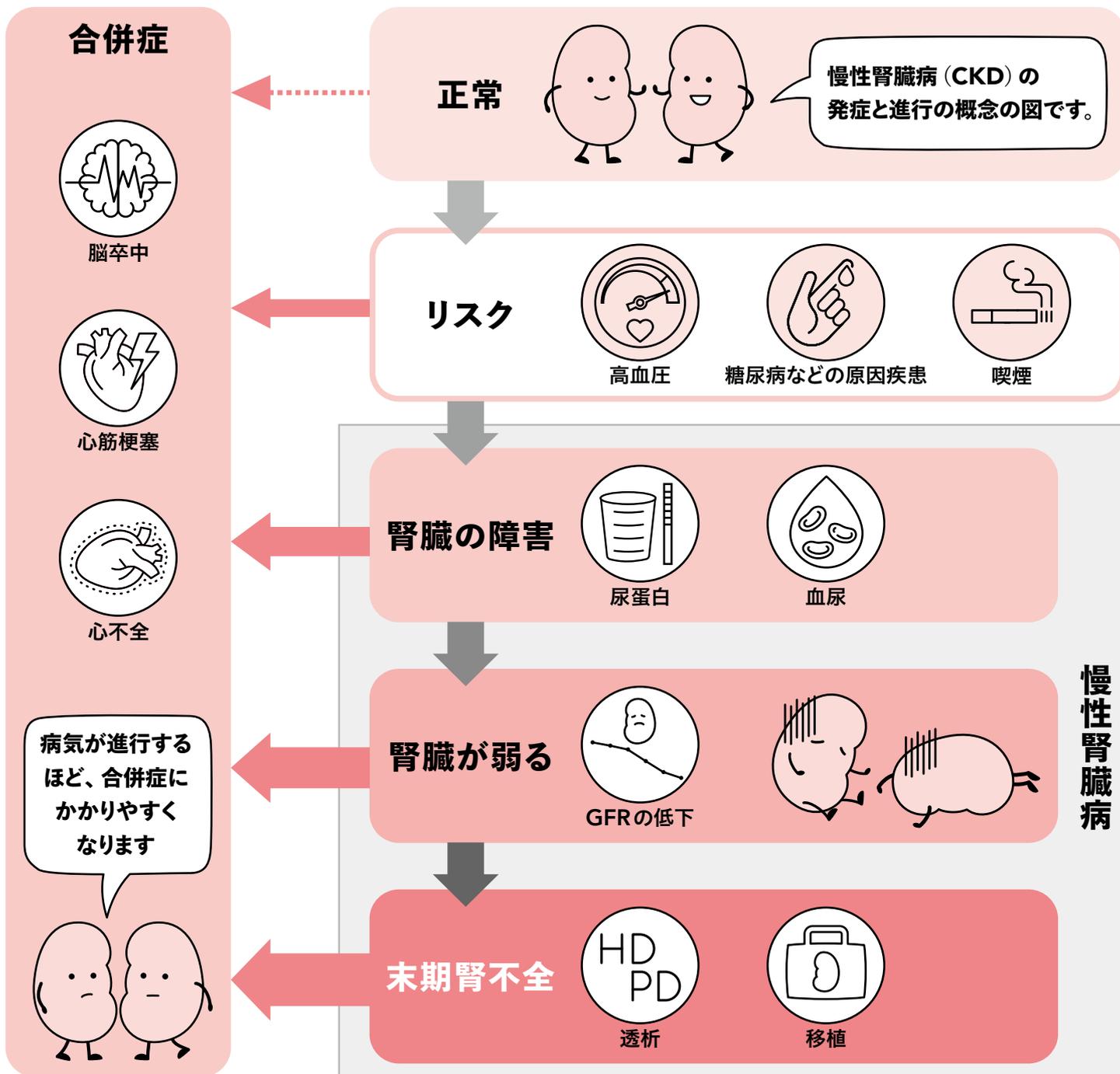
制作

腎臓病情報サイト「じんラボ」

CKDは付き合って生きる病気

慢性腎臓病

慢性腎臓病（CKD）は原因疾患によらず、一定の障害が腎臓に起きると、共通のしくみで末期腎不全まで進行します。



監修

長澤 将

東北大学病院 腎高血圧内分泌科 講師

大武 陽一

たけお内科クリニック からだと心の診療所 院長



みんなで作ろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド



運営

一般社団法人ピーベック



<https://ppecc.jp/>

制作

腎臓病情報サイト「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための

<https://jinlab.jp/>

